

人間はみんな違ってみんないいという言葉があるように何かしらの違いがあります。似ていたって同じ人間などいないと思います。人間は自分ではその違いに気づけないもので場合によってはその違いとはその人間の悪いところかもしれません。私はよく電車やバスでイヤフォンから音がもれている人を見ても何とも思わないけれど、周りの誰かしらは迷惑だと感じているかもしれません。また他にもじゃまになるような行動をとったりなどいわゆる周りが見えてない行動は人によって感じ方が違います。でも一般的にこれらは迷惑行為と言われます。なぜこのような行動をとってしまうのかと言うと、その行動をとっている本人が周りがどう思うか考えていないからだだと思います。つまりこれは自分と他人の感じ方の違いを理解しようとするか、しないかの問題なのでしょう。また人間の違いと言えば障害者の方の話があげられます。

今私は障害者のがい漢字でこの感話に書きました。最近障害者の害という字をひらがなにすることが多くなっていますが、私は障害者のがい漢字の害と記することで悪い印象があるからひらがなにすべきというこの考え方がすでに差別にあたるのではないかと思うのです。実際に障害者の方に悪い印象があるかのように聞こえてしまいます。違いは差別に繋がることがあります。普通と違ったら変だ。そんな偏見が差別になっていきます。普通なんて人それぞれで違っているのに、なぜ自分の基準で周りを決めつけてしまうのだろうと疑問に思います。でも人間は未知のことがたくさんあるため答えは出ないと思います。そんな人間たちの偏見は本人が考え方を変えない限り変わらないから、差別はなかなか無くならない深刻な問題なのだなと思いました。他人が何かして変わるならまだしも本人の考え方で左右されるものは難しいのでしょう。また障害者の方に普通の対応をするのではなく何かしらの配慮や気づかいをするように意識されていますがそれを差別だと言う人がいます。確かに同じ人間なのになぜ特別扱いをするべきなのか疑問に思うことがあるかもしれません。でも私はこれらのことは差別ではなくて、当たり前で当然なことだと思っています。同じ人間ではあるが違うところがあるのは事実であり、今の世界では障害者の方が生きにくかったり不自由が生じる場合があるのです。だから物理的に不足している部分を私たちが意識的に埋めていくことが大切になっていくでしょう。これはあくまで私の考えで周りの人たちがどう考えているかはわかりません。でもこの障害者の方への対応についての考えをまとめていけるのならばもっと障害者の方が生きやすくなっていくと思うのです。

少し話がかたよったので人間の違いについてまた話を戻します。今度は身近な話題です。みなさんは友だちや知人と話しているとき、なんか話が合わないなと思うことはありませんか。私はたくさん感じます。でも気にしたことを表に出したことはありません。相手と話が合わなくて変な関係になり後々めんどくさくなるくらいなら、自分が相手に合わせるのが一番楽だと思います。これらのことを価値観の違いとまとめる人がいますがそれは違うと思います。会話が合わないが気が合わないとイコールになっている人が多いのかもしれませんが。

私はそこで相手に合わせようとしてそれでもだめな人が気が合わない人なのだろうと経験上から思いました。このようにたくさん人間には違いがあります。私もきっと誰かとは違いがあって相手から何か言われたら受けとめ互いに違いを理解していければいいなと思います。